

# いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成 22 年度いのちの教育総合支援事業

## 「生命誕生とかけがえのない いのち」

魚津市立村木小学校 5 学年児童

平成 22 年 11 月 17 日実施

### 【いのちの先生】

水井 雅子先生

・助産師

#### 【授業の概要】

##### 1 養護教諭の話

(1) 「いのちの先生」の紹介

(2) 導入

○「地球上に生命が誕生して 35 億年たつが、今も生物が生きているのはどうしてか」を考える。

##### 2 「いのちの先生」の話

(1) 助産師としての体験を通して

(2) いのちの始まり

○針で穴をあけた色紙や大豆の大きさからいのちの始まりを理解する。

(3) いのちの誕生のしくみ

○受精から出産までをパネル等で理解する。

(4) 胎児の成長過程

○胎児の実際の大きさの手作り人形を抱いて、成長過程を理解する。

##### 3 赤ちゃんやお母さんとの触れあいタイム

(1) 赤ちゃん誕生までの苦労や喜び、配慮

- ・食べ物に気をつけ、甘いものや塩分、アルコールなどを控えた。
- ・お腹が大きくなると自分の足元が見えなくなり、思うように動けなかった。
- ・重いものが持てなくて、家族に助けてもらっていた。

(2) 母親としての日々の生活

- ・赤ちゃんと遊ぶよりも、赤ちゃんの世話で一日のほとんどが過ぎていく。
- ・夜中に何回も起きておっぱいを飲ませたり、おむつを替えたりしている。
- ・毎日大変だけど、赤ちゃんが笑ってくれて日々成長しているのがとてもうれしい。

(3) 赤ちゃんとの触れあい

##### 4 誕生日の意義について

○誕生日の意義の話から、「誕生日」は家族に感謝する日であることを理解する。

##### 5 メッセージカードの記入

4 学年の保健、5 学年の理科での生命誕生についての既習事項や事前の保健指導で、児童は基礎的な知識をある程度もっていたので、いのちの誕生に深く関わっている助産師さんのお話を大変興味深く聞いていた。

また、赤ちゃんとの触れあいや育児中のお母さんとの交流は、初めてという児童が多く、驚きと感動を体験し、いのちの大切さ、家族への感謝の気持ちを高めることができた。

お母さんへ

お母さん、いつも私のお世話をしてくれてありがとう。いのちの授業で、お母さんは私がお腹の中にいるとき、ご飯の内容や行動にとっても気をつけていてくれたことが分かりました。私も10歳になったから、少しずつみんなの役に立つことをしていこうと

思います。困ったことがあったら、言ってください。



イラスト「心のノート」より

〇〇へ

いつもいろいろなお手伝いをしてくれてありがとう。前にも話したことがあるけれども、〇〇がお腹にやってきてすぐに、いなくなりそうになり、入院したことがありました。幸い無事に生まれ、今元気に大きくなってくれて本当にうれしく思います。

これからも、元気で心優しい子でいてね。



イラスト「心のノート」より

お母さんへ

お母さん、いつもありがとう。

私は、いのちの授業で子どもを育てる大変さが少し分かりました。

お母さんはたいへんな苦勞をしながら、私を大切に育ててくれました。だから、今の私は元気であることができます。お母さん、大切に育ててくれて、本当にありがとう。



イラスト「心のノート」より

〇〇へ

〇〇という名前には、いつまでもずっと幸せであってほしいという思いがこめられています。そして、自分の周りの人を大切に、相手の立場にたって物事を考えることができる人になってほしいという願いをこめて育ててきました。これからも家族みんなでああなたの成長を見守り、ずっと応援していくからね。



イラスト「心のノート」より